

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども発達センター施設維持管理等				整理番号	447	枝番号		
所属部課名		保健福祉部子ども発達センター		コード	093801	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	315	
係名 管理係				上位施策名				No		
予算事業名				子ども発達センター維持管理・事業運営		コード		38250		
				障害児の援護の充実				27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立子ども発達センター条例					
					(3) 杉並区立子ども発達センター運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 建物の維持管理 施設運営に関する事務				活動指標名(式) (1) 保守委託契約件数(建物、電気保安、印刷機、昇降機、自動扉、清掃) (2) 延べ床面積 1,775㎡					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全・快適に利用できるよう、施設を良好な状態に維持する。				成果指標名(式) (1) 修理件数 (2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	6	6	6	6	6		
	活動指標(2)		㎡	1,775	1,775	1,775	1,775	1,775		
	成果指標(1)		件	12	14	20	8	10		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,337	25,925	24,385	22,542	24,067	特記事項	
	(内)委託費		千円	11,822	11,684	11,145	10,901	10,957		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.55	1.54	1.54	1.53	1.53		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,079	13,988	13,988	13,897	13,897		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	39,416	39,913	38,373	36,439	37,964		
	単位あたりコスト ÷		円	6,569,333	6,652,167	6,395,500	6,073,167	6,327,333		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	39,416	39,913	38,373	36,439	37,964			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新規相談件数の推移 11年度:111件 12年度:117件 13年度:149件 14年度:147件							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		障害者団体より要望があり、会議室・プール・遊戯室を目的内利用に供している。							
	今後の予測		耐用年限の到来や経年変化による施設設備の劣化等により、修理・修繕費の増加が予想される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	92.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	空調設備等の緊急修理の必要が生じ、予算流用により対応した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	建物設備維持管理部門の委託内容の見直しを図り、委託経費を削減した。 プールの再塗装(営繕課)や窓ガラスの飛散防止フィルム貼付等、利用者が施設を安全に利用できるように配慮した(15年度)。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:施設を良好な状態で維持し、利用者が安全で快適に利用できるようにするのは最低限の義務である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:障害児の支援は、利用者にとってより身近な区で実施するのが適当である。国・都からは措置費及び補助金(15年度からは支援費)を受けている。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:障害児の福祉の向上を目的とする団体の活動を支援していくことは区の責務である(会議室・遊戯室・水治療法室の貸し出し)。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:区民のニーズに応えるためにも、対象の変更はできない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		たんぼぼ園給食運営				整理番号	448		枝番号					
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	093807		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	316			
係名				たんぼぼ園				上位施策名		No				
予算事業名				こども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法 (2) 杉並区こども発達センター給食実施要領 (3)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)									
	・通園グループ指導事業(たんぼぼ園)在籍児及びその保護者、給食指導職員 ・通園児童への昼食の提供 ・児童の口腔機能に応じた形態の調理 ・摂食指導の実施				(1) 給食提供数 (2) 特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
・集団での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する ・口腔機能の向上と食域が広がる				(1) 給食提供数延÷対象者延数 = 給食実施率 (2) (代)口腔機能向上児÷特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数 = 特別職実施率										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		食	17,078		17,744		17,000		15,698		16,000		
	活動指標(2)		人	40		32		40		19		30		
	成果指標(1)		%	100		100		100		100		100		
	成果指標(2)		%	50		9		50		57		50		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,319		13,420		12,996		12,748		13,171	特記事項 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれている。 *国・都からの支出金は、通園グループ(たんぼぼ園)として給食費分も含めて一括交付されているが、内訳は不明のためここに計上できなかった。	
	(内)委託費		千円	13,117		13,367		12,794		12,569		12,969		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.51		1.51		1.51		1.41		1.41		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,715		13,715		13,715		12,807			12,807
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	27,034		27,135		26,711		25,555		25,978		
	単位あたりコスト ÷		円	1,583		1,529		1,571		1,628		1,624		
	財源	受益者負担分		千円	3,307		3,363		3,254		3,407			2,588
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	3,307		3,363		3,254		3,407			2,588
差引:一般財源 -		千円	23,727		23,772		23,457		22,148		23,390			
受益者負担比率 ÷		%	12.2		12.4		12.2		13.3		10.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		給食提供を義務づけた国の方針に変更はない。形態については、個々の口腔機能に合わせて行ってきたが、それに加えアレルギー食への対応を行っている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		親子グループの保護者にも給食を提供してほしいという要望がある。(幼児グループにも親子通園日が1日設けられており、給食を実費で提供している。)支援費制度の導入により、保護者からの要望が高まる事が予測される。											
	今後の予測		調理委託料との関係ではこれ以上給食数を増やすのは現状としては難しい。家庭における調理が減少することが考えられるので、給食を通じての援助・指導が、より一層必要になる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	92.3	活動指標(2)の14年度達成率%	47.5	14年度予算執行率%	98.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	他施設とのバランスを図り、食材費のコストを下げる。それについては委託業者に無理のないような献立内容の検討をする。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：必要な栄養摂取だけでなく、口腔機能等の状況に応じた食事に関する保護者の理解を容易にし、子どもの健康維持に結び付けている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：知的障害児通園施設として給食提供が義務づけられている。特別な援助が必要な心身の発達段階にある子どもの食事は、発達と生命に密接に関わるものであり必ず取り組まねばならない事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由：給食は、良好な状態で提供できている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：給食費の見直しは実施したばかりである。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：親子グループの保護者にも給食を提供することで成果は上がる。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 親子通園グループの保護者に給食を提供する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託経費の増と調理スペースの確保を検討する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通所バス(たんぼぼ園通園バス)				整理番号	449		枝番号	
所属部課名		子ども発達センター		コード	093807	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	317
係名		たんぼぼ園			上位施策名				No	
予算事業名		子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実			27
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 通園グループ指導事業(たんぼぼ園)在籍児及びその保護者				(2) 杉並区立子ども発達センター通園グループ通所バス運行要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。 また、社会体験・保育園交流・アフターグループ等の交通手段として運行する。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもがかかえている課題を解決するため、利用者の利便を図り、療育の動機づけや継続的通園を支援する。				成果指標名(式)					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		日	254	254	254	254	254		
	活動指標(2)		回	1,977	2,112	2,100	2,083	2,100		
	成果指標(1)		回	8	8	8	8	8		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,365	33,365	33,365	33,365	33,365	特記事項 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれている。 国・都からの支出金は、通園グループ指導(たんぼぼ園)としてバス運行分も含めて一括交付されているが、内訳については不明のためここに計上できなかった。	
	(内)委託費		千円	33,365	33,365	33,365	33,365	33,365		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.51	0.51	0.51	0.51		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,542	4,632	4,632	4,632		4,632
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	37,907	37,997	37,997	37,997	37,997		
	単位あたりコスト ÷		円	149,240	149,594	149,594	149,594	149,594		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	37,907	37,997	37,997	37,997	37,997			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		通園バス運行を義務つけた国の方針に変更はない。開設当初は、たんぼぼ園の通所と初回体験事業を主として運行していたが、通園事業に支障のない範囲で個別指導に来所する肢体不自由児、アフターグループ通園等にも広げ、より有効に活用している。 運行時間が1時間を越える日が出現してきている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		心身の発達に障害や遅れがある就学前の子どもが1時間も乗車するのは厳しい。通所時間の短縮を図るため増車してほしい。 通園のみでなく個別指導やアフターグループにももっと利用できるように、午後の契約時間を長くしてほしい。							
	今後の予測		杉並区のどこに住んでいても通えるようにする必要がある。年度途中の入退所もあり、バスの運行時間の柔軟な対応が求められる。バスの利用希望が漸増する傾向にある。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	99.2	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	距離や天候に左右されることなく、継続的な通園を可能にする手段となっている。また園児にとっては、バス通園すること自体が発達を促す機会となっている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 知的障害児通園施設として通園バスの運行が義務づけられている。障害のある子どもの継続的な通所を促すために、通所手段の整備は不可欠である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由: 対象を個別指導やアフターグループの利用者に拡大するなど、既に可能な限り有効利用を図っている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 子どもの発達に精神的な不安を抱えている時期の保護者に対し、さらに経済的負担を求めることは、療育の動機づけや継続的療育を実施する上での支障が大きい。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 現在以上に対象を拡大するのは難しい。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更) ▼	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		たんぼぼ園通園グループ指導				整理番号	450		枝番号		
所属部課名		こども発達センター		コード	093807	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	318	
係名		たんぼぼ園				上位施策名			No		
予算事業名		こども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実			27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 心身に障害や発達の遅れのある、就学前のこどもとその保護者				(2) 東京都障害児通園(デイサービス)事業実施要綱						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 幼児グループと親子グループの9グループ。事由遊び・課題遊び・専門療法・社会体験活動などを実施し、子どもの発達を促す。いずれのグループにも親子通園日がある。				活動指標名(式)						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 集団活動を通して低年齢からの適切な療育を実施することにより、発達を促し、子どもが身近な地域の中で生活できるようにする。保護者も療育の場に参加することにより、見通しをもって子育てできるようにする。				成果指標名(式)						
		14年度	15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%				
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度計画		14年度実績		
指標	活動指標(1)		人	70	70	70	70	72			
	活動指標(2)		人	89	85	90	84	85			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,509	8,190	8,011	8,007	12,282	特記事項		
	(内)委託費		千円						「国・都からの支出金」には給食運営・通所バス分も含まれているが、内訳については不明なので、ここに一括して計上した。支援費制度移行に伴い、15年度より都支出金は廃止された。		
	職員数(正規 非常勤)		人	15.42	15.33	14.90	14.95	14.95			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	140,060	139,242	135,337	135,791			135,791
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	148,569	147,432	143,348	143,798	148,073			
	単位あたりコスト ÷		円	2,122,414	2,106,171	2,047,829	2,054,257	2,056,569			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	99,825	105,187	105,052	102,817			94,128
		特定財源計 +		千円	99,825	105,187	105,052	102,817			94,128
差引:一般財源 -		千円	48,744	42,245	38,296	40,981	53,945				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		済美養護学校幼児教室が15年度から廃止となったため、定員を増やした。幼児グループの親子通園日を減らした。通園希望待機者が増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		通園希望者を速やかに受け入れてほしい。通園日数増及び時間延長の要望がある。								
	今後の予測		親のレスパイトの要求が強くなることが予想される。個別指導の要望等、個々の療育内容の充実を求める声が高まると予想される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	93.3	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	済美養護学校幼児教室が15年度から廃止となったため、定員を増やした。 幼児グループの親子通園日を減らした。 都障害児通園(デイサービス)事業を15年度より支援費対象事業とした。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 子どもの成長発達及び保護者の精神安定や子育て意欲の向上に結びついている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 心身に障害や遅れのある子どもとその家族が地域の中でよりスムーズに生活していけるよう援助するため、区の専門療育施設としてコーディネートしていく必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 子どもの発達に精神的な不安を抱えている時期の保護者に対し、更に経済的負担を求めることは、療育の動機づけや継続的療育を実施する上での支障が大きいと思われる。なお法内措置児童については、負担能力に応じ、東京都が徴収している。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 地域の早期療育の中核施設として充実が必要であり、対象を縮小することはできない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 障害の重度化・低年齢化の中で、人的対応や専門的アプローチが求められており、コストダウンは難しい。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 通園希望者に対し、速やかに対応できるよう、グループの運営形態を見直す。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 スペースの確保と職員配置の見直し					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 例年なら年度後半に開始した待機児のグループを、15年度は7月時点で既に3グループ(25人)発足させている。16年度は年度当初からの受け入れ 困難が予想される。そのためスペースの確保と職員配置を含めた運営形態の見直しを行なう必要がある。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター訓練及び行事				整理番号	451		枝番号			
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	093807	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	319		
係名		たんぼぼ園			上位施策名				No			
予算事業名		こども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実			27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立こども発達センター条例 (3)							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 通園グループ在籍児及びその家族 センター利用児及びその家族											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 園外訓練(遠足)、運動会、就学を祝う会、入園式、家族交流会 夏まつり 障害をもつため、地域のまつりに参加できない親子に祭りの体験をしよう。また、日頃センターに来所することの少ない父親や家族が来所する機会とする。				活動指標名(式) (1) 園外訓練(遠足)等の参加者 こども130名 大人139名 (2) 夏まつりの参加者数 289名							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることで成長のきっかけにする。 日頃の活動の節目として子どもの成長と発達を促す。				成果指標名(式) (1) (代)園外訓練(遠足)等に参加した児童数÷対象児童数=参加率 (2) (代)夏まつりの参加数÷対象者数=参加率								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標(1)		人	228	245	250	269	250				
	活動指標(2)		人	235	279	300	289	300				
	成果指標(1)		%	78	100	90	100	90				
	成果指標(2)		%	67	85	90	85	90				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	261	288	305	246	307	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.36	1.31	1.31	1.30	1.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,353	11,899	11,899	11,808	11,808			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	12,614	12,187	12,204	12,054	12,115				
	単位あたりコスト ÷		円	55,325	49,743	48,816	44,810	48,460				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	12,614	12,187	12,204	12,054	12,115					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		園外訓練の保護者の交通費を、実費負担にした。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		様々な社会体験をすることで自信につながるので、今後も続けて欲しいとの要望がある。									
	今後の予測		訓練及び行事は子どもの成長には大事な取り組みであり、内容・対象者については見直しはあるが、必要な事業である。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	107.6	活動指標(2)の14年度達成率%	96.3	14年度予算執行率%	80.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	母子の健康状態、家庭における弟妹の養育等により参加できなかったため。 他所で同様の行事を体験できたため					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	保護者に交通費を実費負担してもらうことにより、予算が削減できた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由：心身の発達を促すためには多様な体験の場が必要である。保護者同士の交流をすることで、育児不安が軽減されている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：通園事業の活動の一部である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：参加者への効果は現れている。 感染症や体力的に弱い子どもも多く、参加率を一気に向上させることは難しい。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：14年度から一部受益者負担により実施している				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(執行体制改善(組織統廃合、簡素化))	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 16年度から夏まつりの開催時間を短縮する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター療育相談				整理番号	452		枝番号		
所属部課名		こども発達センター		コード	093804	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	320	
係名 療育相談係					上位施策名				No		
予算事業名 こども発達センター事業運営					コード	36550			障害児の援護の充実		27
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立こども発達センター条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱						
	心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者。				(3) 杉並区立こども発達センター相談事業実施要領						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。				活動指標名(式)						
				(1) 相談実施件数(電話相談・新規相談・医療相談)							
				(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、障害のある子どもの発達の機会が早期に保障される。				成果指標名(式)							
				(1) 相談により適切な療育を受けられるようになった件数							
				(2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	16年度		
指標	活動指標(1)		件	504	592	600	620	600	600	103.3	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	495	586	600	608	600	600	101.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,637	1,526	1,617	1,605	1,618	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	3.13	3.12	3.18	3.19	3.19			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	28,430	28,339	28,884	28,975	28,975		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	30,067	29,865	30,501	30,580	30,593			
	単位あたりコスト ÷		円	59,657	50,448	50,835	49,323	50,988			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	30,067	29,865	30,501	30,580	30,593				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		相談件数 平成9年度755件 10年度560件 11年度476件 12年度504件 13年度592件 14年度620件 平成9年度は、こども発達センターの事業開始に伴い相談が殺到した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		就学してからも、いろいろな相談にのってほしいとの要望がある。								
	今後の予測		障害の出現率に大きな変化はないと思われ、ほぼ横ばいの傾向で需要は推移すると思われる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	103.3	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	99.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	相談件数は伸びている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	相談担当のOJT(職場内研修)を行っている。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：発達センターの目的の一つである、地域における障害の早期発見・早期療育の要になっている			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：地域の各機関間のコーディネート業務が必要であり、区が行う必要がある			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：こども発達センターに相談に来た人の殆どを、適切な早期療育の場につなげている。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：有料化により早期の相談機会を失う恐れがある。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：医療相談は非常勤医師で行っている。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 14年度から、済美教育研究所で行っていた、就学相談に伴う発達検査実施と判定資料作成を分担して行うことになり、事務量が増加した。15年度から教育委員会の就学委員会に加わり、さらに事務量は増大している。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 済美教育研究所との間で、適正な事務分担と執行体制を見直す必要がある。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 心理担当非常勤職員2名増 19,300円×16日×12日×2名 = 7,411,200円 昨年の済美教育研究所就学相談担当は、常勤1 + 非常勤4の体制				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター言語心理指導				整理番号	453		枝番号			
所属部課名		こども発達センター		コード	093804		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	321	
係名		療育相談係				上位施策名			No			
予算事業名		こども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実			27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立こども発達センター条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 発達に遅れのある区内在住の18歳未満の子どもとその保護者				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すとともに保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。				活動指標名(式)							
				(1) 個別指導及び専門相談実施件数								
				(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる。				成果指標名(式)								
				(1) (代)個別指導および専門相談を実施し向上した人数								
				(2)								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		16年度				
指標	活動指標(1)		件	3,174	4,231	4,300	4,259	4,300	4,300	99.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	307	473	480	372	350	350	106.3		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,937	22,822	23,460	22,552	26,592	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.60	1.59	1.59	1.62	1.62				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,533	14,442	14,442	14,714	14,714				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	33,470	37,264	37,902	37,266	41,306				
	単位あたりコスト ÷		円	10,545	8,807	8,814	8,750	9,606				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	33,470	37,264	37,902	37,266	41,306					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		言語心理個別指導及び専門相談の実施件数 9年度 2,250件 10年度 3,001件 11年度 3,500件 12年度 3,174件 13年度 4,231件 14年度 4,259件									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		学齢期児童への個別指導に対する要望がある。									
	今後の予測		学齢期児童の個別指導実施に対する要望はさらに強まると予想される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	96.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	学童の指導を開始したことにより、指導件数が増加した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	心理非常勤職員を1名増員する。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 早期からの適切な療育を実施することで、発達につまづきや障害のある子どもの心身の発達を促している。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 障害の早期発見・早期療育は、地域の各機関間のコーディネート業務を軸に総合的な支援が必要であり、区が行う必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 継続的な指導を適切に実施することに支障をきたすと考えられる			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: すでに事業の大部分を非常勤体制で行っている			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 学童については、今後、特別支援教育の実施にあわせて教育分野との連携を図っていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 指導件数の増加に伴い相談室の部屋数が不足してきている。当面は他の部屋を転用するなどして対応する。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	15年度は心理職員を増員するとともに、小グループ指導等を取りいれて、増大する需要にこたえる。学童については専門相談を活用して対			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター保健指導				整理番号	454		枝番号						
所属部課名		こども発達センター		コード	093804		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	322				
係名					療育相談係			上位施策名		No					
予算事業名					こども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区立こども発達センター条例								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱								
	相談・通園グループ指導・個別指導の利用児とその保護者および関係者				(3) 杉並区立こども発達センター保健医療事業実施要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)										
看護師の視診による子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価および技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健だよりなどで保健情報を提供する				(1) 保健指導実施件数											
				(2)											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)											
利用者の健康維持を図るとともに、口腔機能・摂食嚥下機能の向上等をめざし、本人の可能性・能力を十分に発揮できるようにする。				(1) (代)個別の摂食指導を受け機能が向上した人数											
				(2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標(1)		件	881		952		900		926		900			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	67		65		60		69		60			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,614		2,355		2,249		2,165		2,287		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	1.09		1.10		1.10		1.14		1.14			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,900		9,991		9,991		10,355		10,355		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	11,514		12,346		12,240		12,520		12,642			
	単位あたりコスト ÷		円	13,069		12,968		13,600		13,521		14,047			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	11,514		12,346		12,240		12,520		12,642				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		個別摂食指導人数 9年度 18人 10年度 41人 11年度 58人 12年度 67人 13年度 65人 14年度 69人												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		指導対象児が所属する保育園・学校などから、職員に対する支援を充実してほしいという要望がある												
	今後の予測		医療的ケアの必要な障害程度が重い子どもが増えると思われる。摂食指導の頻度増加や関係職員への支援充実を求める声は増大すると思われる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	102.9	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	96.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	職員の指導技術を向上させ、保育園に対して知識技術の援助を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 障害の状況は個人差が大きく、こどもの健康管理に対する指導・助言により継続した療育実施が可能になっている。 摂食指導は、豊かな日常生活の実現になくてはならないものといえる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 健康維持は障害児の発達を促すための基本条件であり、こども発達センターにおける療育・指導の基盤となる事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 継続的な事業実施に支障をきたすと考えられる				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 保健指導の対象はずでに限定されている				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 摂食指導対象者は減少していないため、専門技術者の指導回数は減らせない。また、指導の効果を高めるためには他職種の関与も欠かせない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 職員が指導技術を向上させることや保育園・学校等に対して知識・技術の支援を行うことにより、今後の対象拡大に対してコストを増やさずに対応する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター運動機能リハビリテーション				整理番号	455		枝番号		
所属部課名		こども発達センター		コード	093804	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	323	
係名 療育相談係					上位施策名				No		
予算事業名					こども発達センター		コード	36550		障害児の援護の充実	27
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立こども発達センター条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱						
	区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。				活動指標名(式) (1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施回数 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする。				成果指標名(式) (1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数 (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績		年度	
指標	活動指標(1)		件	2,748	2,404	2,500	2,903	2,500			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		人	147	131	130	193	150			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,984	4,300	4,019	4,426	4,019	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	3.66	3.65	3.67	3.67	3.67			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	33,244	33,153	33,335	33,335	33,335		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	37,228	37,453	37,354	37,761	37,354			
	単位あたりコスト ÷		円	13,547	15,579	14,942	13,008	14,942			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	37,228	37,453	37,354	37,761	37,354				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		リハビリテーション登録者数 9年度92人 10年度81人 11年度113人 12年度147人 13年度131人 14年度193人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		定期的な個別指導を、18歳まで実施してほしいという要望がある。								
	今後の予測		学齢期児童の個別指導に対する要望はさらに強まると思われる。教育機関との連携を求める声も強くなると思われる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	116.1	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	110.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由：早期からの適切な療育の実施により、障害のある子どもの運動機能の発達を促している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由：障害の早期発見・早期療育は、地域の各機関間のコーディネート業務を軸に総合的な支援が必要であり、区が行う必要がある				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：継続的指導を適切に実施することに支障をきたすと考えられる。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか ▼	理由：対象者はすでに限定されている。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他) ▼	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) たんぼぼ園通園児への個別指導の充実					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現行の職員体制のもとでは、個別指導の回数増は困難な状況にある。学齢児の個別訓練については区全体を見通した役割分担が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター巡回指導				整理番号	456		枝番号			
所属部課名		こども発達センター		コード	093804	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	324		
係名 療育相談係					上位施策名				No			
予算事業名 こども発達センター事業運営					コード	36550		障害児の援護の充実			27	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立こども発達センター条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱							
	障害児が在籍する保育園・幼稚園の担当者				(3) 杉並区立こども発達センター巡回指導実施要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 児童精神科の医師や心理の職員が保育園・幼稚園に出向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。				活動指標名(式) (1) 巡回指導実施件数 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することで障害児の地域での生活が充実する				成果指標名(式) (1) 巡回指導を受けた保育園児・幼稚園児・小学生の数 (2)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績	年度			
指標	活動指標(1)		件	251	243	250	246	250				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	110	125	120	118	120				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,347	4,401	5,323	4,315	5,323	特記事項			
	(内)委託費		千円	4,347	4,281	5,263	4,255	5,263				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.58	0.58	0.60	0.49	0.49				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,268	5,268	5,450	4,451	4,451			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,615	9,669	10,773	8,766	9,774				
	単位あたりコスト ÷		円	38,307	39,790	43,092	35,634	39,096				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	9,615	9,669	10,773	8,766	9,774					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		巡回指導実施回数 9年度 139回 10年度 228回 11年度 241回 12年度 251回 13年度 243回 14年度 246回									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		学童クラブにも巡回してほしいという要望がある。									
	今後の予測		幼稚園等への指導実施に対する要望はさらに強まると予想される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	98.4	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	81.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	15年度は、保育園への巡回の回数を増やすとともに、新たに幼稚園に対して巡回指導を行う。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：障害児の発達を促すためには、療育に関わる機関相互の連携が不可欠であり、療育システムを形作る中心的事業となっている。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：地域における療育のセンターとして総合的な支援体制の一環であり、区が行う必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：巡回先は公的機関が中心であり、有料化にはなじまない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：すでに事業委託にて実施している。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今後も障害児を受け入れている幼稚園に対するサービスを充実させていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こども発達センター療育講座等				整理番号	457		枝番号					
所属部課名		こども発達センター		コード	093804		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	325			
係名 療育相談係				上位施策名				No						
予算事業名 こども発達センター				コード		36550		障害児の援護の充実				27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立こども発達センター条例									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱									
	こども発達センター利用児の保護者 関係機関職員				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 療育講座 (年3回) リハビリテーション講座 (年2回) 摂食指導講演会 (年2回) 施設公開 (年1回)				活動指標名(式) (1) 各種講座延参加者数 (2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 保護者が子どもの状況を理解し、将来に見通しをもった子育てができるようになる。障害や子育てについての最新の知識や情報を得ることにより、地域での受け入れや関係機関との連携をスムーズにする。				成果指標名(式) (1) (代) 参加者数 ÷ センター利用登録者数 (療育講座) = 利用率・参加率 (2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標(1)		人	229		246		250		308		250		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	22		38		30		38		30		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	243		285		211		220		213	特記事項	
	(内)委託費		千円											
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.70		0.70		0.70		0.70				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,358		6,358		6,358		6,358			6,358
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	6,601		6,643		6,569		6,578		6,571		
	単位あたりコスト ÷		円	28,825		27,004		26,276		21,357		26,284		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	6,601		6,643		6,569		6,578		6,571			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		講座の内容に関する要望が多岐かつ専門的になってきたので、テーマを絞って実施している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		個々のニーズに応じた専門的な内容を実施してほしいとの要望がある。											
	今後の予測		子どもの発達に不安を抱える保護者は常にいるので、入門的な内容の講座の需要は変わらない。また学齢児等の段階を追った専門的な内容の需要が高まると予想される。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	123.2	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	104.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成14年度は関係機関の関心が高いADHD・LDの講演を行い、139名という多数の参加を得て、情報交換・共通認識を深めるのに役立った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：保護者の障害に対する理解をすすめるとともに、関係機関職員の知識習得や連携の契機となっている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：利用者の実態に合わせたテーマを設定することにより、保護者のニーズに的確に対応できる。地域療育の核として民間を含めた関係機関との連携を図る必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：障害児の総合的療育体制を実現するための啓発・基盤整備の一環として行うことが必要であり、受講料設定はなじまない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：事業の内容から対象の変更は考えられない。ただし、テーマにより検討の余地はある。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：総事業費は削減できないが、参加人数を増やすことにより1件あたりのコストを下げることは可能である。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 引き続き入門変だけでなく、専門的な内容を取り入れる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					